

看護学科

科目名: 人間関係論			担当教員 氏名: 尾山 敦子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	1年次 前期	総合科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード
<p>・人間関係論は、人間性心理学(交流分析)を中心に学習し、講座を通じて「自他を受け入れ認められる人」「人と親密に係ることができる人」を目指す。</p> <p>・自己のパーソナリティの認識と改善、他者への気づきと円満な対応、状況と相手に相応しいやりとり選択、効果的なストローク(ふれ合い)交換、自己の感情や行動の傾向に気づいて改善することを目指す。従って、大学などの学生層、とりわけ心理系、看護系、福祉系、コミュニケーション系カリキュラムに対応するプログラムである。交流分析のスローガンは「人は誰でもOKである。過去と他人は変えられない。変えられるのは未来と私。自分が変われば相手が変わる。」</p>					<p>・人間性心理学 ・人間力</p> <p>・交流分析(TA)</p> <p>・エゴグラム</p> <p>・パーソナリティ理論</p> <p>・コミュニケーション法</p> <p>・やりとり・傾聴・ストローク</p>
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 5. 7. 8.	
A 知識・理解力	・自己のパーソナリティ認識と成長法				
E 自己管理能力	・人生の構えのゆらぎと改善、・人生脚本の書き換え等				
F チームワーク・リーダーシップ	自他のパーソナリティを認識した係り方・やりとりパターンの改善(傾聴法、アサーションを含む)・ストローク授受の改善				
G 倫理観	・自他受容(人は誰でもOKである。人は誰でも考える力をもっている。)				
H コミュニケーション力	・エゴグラム分析、・やりとりパターンの改善、 ・ストローク授受の改善				
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 90 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %	
特記事項: アクティブラーニングの一環としてグループワーク、発表を行なう。					
アクティブラーニング要素:					
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク					
テスト(レポート・発表・実技試験等)の実施時期: 随時実施する。					
補修・試験日に期末テストを実施する。(テスト・レベルは上述の到達目標による。)					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テスト並びに提出課題については次回にフィードバックをし、確実な講義内容の修得と、支援活動における実践力養成につなげる。なお希望者には随時個別面談を行う。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①人間関係論とは何か 人間関係論の必要性と目的 自己紹介(グループワーク)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
②第1章: 自我状態とは何か「今、ここ」でのパーソナリティ(自我状態の構造分析・機能分析)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
③第1章: 「今、ここ」でのパーソナリティ (エゴグラム心理分析)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
④第1章: 「今、ここ」でのパーソナリティ (自我状態の本来の機能を引き出す方法)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑤第2章: やりとり分析 (相補交流・交差交流・裏面交流)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑥第2章: やりとり分析 (事例: やりとり分析)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑦第3章: ストローク (ストロークの種類・ストローク経済の5つの理解)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑧第3章: ストローク ディスカウント (事例: ストローク)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑨第4章: 人生の立場 人生の立場の成り立ち (事例: 人生の立場)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑩第5章: 心理ゲーム (心理ゲームとは? ゲームの公式)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑪第5章: 心理ゲーム (事例: 心理ゲーム)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑫第6章: 時間の構造化 時間の構造化の6つのステップ (事例: 時間の構造化)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑬第7章: 人生脚本 人生脚本の成り立ち (事例: ドライバーカード)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑭第7章: 人生脚本 (ドライバー行動)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
⑮第8章: まとめ—学び続ける— (自己改善の行動目標設定)			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】復習	【予習】20分 【復習】30分	
使用テキスト: 「交流分析士初級テキスト」(NPO法人日本交流分析協会発行) 電子書籍 ※随時プリントを配布します。			その他の参考文献など: TA TODAY 最新・交流分析入門 I・スチュアート 著 V・ジョインズ 著(実務教育出版)		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 「自分を受け入れ、人をも受け入れることができる人」「自他のパーソナリティを認識し、それにふさわしい対応ができる人」を目指す。人にとって人間性豊かな係わりは、何物にも代え難く有り難い励みである。人間関係論は、今後の人生を通じて、色々な場面で、いつも役に立つ。人間関係論(交流分析)は心理カウンセラーへの導入路でもある。 「人間関係論」において初級講座(20時間)を受講後、認定試験(1日)合格者は、NPO法人日本交流分析協会「交流分2級講座」に編入でき、終了後は「交流分析士2級」(登録商標)の認定試験を受験でき、資格取得が可能となる。					

社会福祉学科

科目名: 心理学と心理的支援				担当教員 氏名: 竹ノ山圭二郎					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修	社会福祉士受験資格(必修)、精神保健福祉士受験資格(必修)、介護福祉士受験資格(必修)、福祉心理士			
実務経験を用いてどのよう心理臨床の実務経験に基づき、精神障害の理解、心理アセスメントの技法、心理臨床の事例検討などについて授業を行っているか: いても授業展開の中に盛り込んでいる。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
①人の心の基本的な仕組みと機能を理解し、環境との相互作用の中で生じる心理的反応を理解する。 ②人の成長・発達段階の各期に特有な心理的課題を理解する。 ③日常生活と心の健康との関係について理解する。 ④心理学の理論を基礎としたアセスメントの方法と支援について理解できる。						ストレス、感情、認知、社会、 発達、心理的支援			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 3. 4. 5.				
A 知識・理解力			心理学の基礎知識について理解している						
C 論理的思考力			人間の行動や心理について科学的、客観的に思考する基礎的な力を身に付けている						
E 自己管理能力			主体的に学修計画を立て、学習習慣を身につける						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	50 %
特記事項: 自発的な授業時間外学習および積極的授業参加に基づいて成績評価を行う。クリッカーを用いた双方向型授業を行います。また第15回目は、ポスターツアーによるプレゼンテーションを行います。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 初回時に授業の進め方および評価方法を説明します。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 主体的に学習できるように、学習到達度について毎回フィードバックします。									
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)					
				学習内容	学習に必要な時間(分)				
①心理学とは(心理学の歴史と対象、心を探究する方法の発展)				【予習復習】心理学の学問領域	30				
②動機づけと適応				【予習復習】クエス1: 動機づけ	180				
③感情・情緒				【予習復習】クエス2: 感情	180				
④感覚・知覚・認知				【予習復習】クエス3: 感覚・知覚・認知	180				
⑤学習・行動				【予習復習】クエス4: 学習	180				
⑥記憶・知能				【予習復習】クエス5: 記憶・知能	180				
⑦性格				【予習復習】クエス6: 性格	180				
⑧対人関係と集団: 社会心理				【予習復習】クエス7: 社会心理学	180				
⑨生涯発達(発達課題と発達段階、認知・言語・愛着・道徳性の発達)				【予習復習】クエス8: 発達	180				
⑩心の健康とストレス				【予習復習】クエス9: ストレス	180				
⑪精神障害・知的障害				【予習復習】クエス10: 精神障害・知的障害	180				
⑫発達障害・認知症				【予習復習】クエス11: 発達障害・認知症	180				
⑬心理学的アセスメントと心理的支援の基本的技法				【予習復習】クエス12: 心理アセスメント	180				
⑭心理療法における介入技法の概要				【予習復習】クエス13: 心理療法	180				
⑮福祉における心理的支援と心理専門職				【予習復習】ポスレベルクエス: 福祉における心理的支援	240				
使用テキスト: 指定テキストはありません。必要な参考資料は、図書館等で自ら収集してください。				その他参考文献など: 心理学事典[平凡社]; 心理学辞典[有斐閣]; 心理学辞典[丸善]; アイゼンク教授の心理学ハンドブック[ナカニシヤ出版]					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): クエス型授業によるアクティブラーニングで学びます。履修学生同士が協働しながら、心理学の概要を楽しく学びます。学ぶことに喜びを感じるようになることが、この授業の第一の目標です。									